



愛 高め合い、磨き合い、感動し合う学校をめざして

駅伝フェスティバル～大満足～

12月4日（金）に三大打事の最後を締めくくる「駅伝フェスティバル」が開催されました。今年度は、11区間を2コースに設定し、各クラス2チームが走りました。感染症対策のため襷は使用せず、中継点を通したら次の走者がスタートするという方式でした。競技場へ入ってきた選手は、ラストスパートの走りに切り替わり、その瞬間の姿に感動しました。オープンレースに出場する生徒たちも、クラスのために精一杯走りました。まさに、全員のタイムで勝利をつかみ取るために、日々練習に励んでいた生徒たちの感想は、学級愛、級友愛に満ちあふれていました。

【駅伝フェスティバル】

オープンレースに今まで頑張ってきた成果を出すことができた。

駅伝フェスティバルを通して、友だちと協力し支え合う大切さやそのことへの楽しさが分かった。

駅フェスは、当日までの練習や努力の積み重ねが大切ということに気づいた。

駅伝が楽しかった。今までにやったことのないくらい練習を重ねた。本番ではクラスみんなが応援してくれたので自己ベストがでた。

初めて区間賞を取ることができた。休みの日の朝や平日は昼休みや帰宅後も走った甲斐があった。

団体種目は速い遅いが問題ではなく、全員がお互いを応援し合ったり、クラスのために一人ひとり頑張ることで順位が変わることを実感。

クラス関係なくたくさんの人に応援 応援されて嬉しかった



たくさんの応援に勇気をもらえたおかげで、楽しく走った。「お疲れ」の言葉は心に響いた。

コロナの関係で襷は繋げなかったけれどみんなの思いは繋げたはず！！

初めて本レースを走ることになり、すごく不安な気持ちでいっぱいだった。家で自主練をして、本番に備えた。いい経験となった。

毎日の練習や体育のミニ駅伝は辛かった。

駅フェスは楽しく充実感のある最高のものとなった。結果が全てではないと改めて思うことができた。本番がこんなにも大成功したのは、練習からみんなが全力で取り組んでいたからだと思う。

選手になって緊張したし不安もあったけど、クラスみんなが「大丈夫」「頑張れ！」と声をかけてくれたので走りきれた。

クラスのために、1秒でも速く次の人にまわすという思いで走った。

競技場で行うと校庭で走るよりも気持ち上がる。

また、駅フェスやりたい

少しでも差を縮められるように走った。

3年間の駅伝フェスティバルの中で、一番楽しく思い出に残るものになった。いろいろな制限の中実施してもらえたことに感謝したい。

3年間の駅フェスで学んだことは、「チーム力」。チームメイトを思って納得のいく結果がでるんだな。

